

郵便  
報知新聞  
第六百五十五号

宮城縣百理郡十二小區百理駅の農熊沢  
松之助八年齢五十路の坂を越るに老て益  
壯健なる同郷芥藤豊吉の后妻との  
容色小想を以て夫が留守の隙に立寄  
るに深し中よりわが松之助の思  
らく貧困の豊吉をわが金に換ふと  
乞ひ晴決裂を契らんとす殊に  
依頼して斯と談合及びに豊吉の  
頭て左迄の懇望を難く十山と  
いふ妻と嫁とを就して父と娘と  
引取めらるべしと返答をわが仲人  
と引受て先さの娘を連り梓と妻  
合せ父の母と具一家同時は三夫  
婦と揃ひる世も稀なる吉瑞あり  
けり  
のんく舎南誌



今庄錦司堂

彫工 銀